

私たちは、地域住民の心と身体を健康をささえる病院として  
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成 17 年 9 月 1 日 発行  
発行責任者 広報委員会  
地域連携室

# 青葉の風

第 6 号

連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

みなさん、こんにちは。9月に入り朝夕の空気に秋らしさを感じられるようになりました。  
今回も話題たくさん、季刊広報誌「青葉の風」第6号をお届けいたします。

## ～ 八幡青樹会病院ニュース ～



### （財）日本医療機能評価機構の病院機能評価の認証(Ver4.0)を受けました。

平成 17 年 8 月 22 日付けで当院は、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認証を受けました。病院機能評価とは、病院を第三者的な立場で客観的に評価するシステムで、病院の地域における役割、患者様の権利と安全の確保、診療の質など、7つの領域について約 600 項目にわたる評価対象の審査が行なわれるものです。昨年末、サーベイヤーと呼ばれる 4 名の審査員の訪問による実際の管理運営体制の審査、確認が行なわれ、この度認定証の交付をいただくことができました。今回の認証を機に昨年 8 月に同じく認証を受けた長浜青樹会病院、地域機関との連携の中、医療・保健・福祉の拠点として皆様のニーズにお応えしていきたいと思っております。



### 当院の栄養課（給食部門）が知事表彰を受賞しました。

平成 17 年 5 月 20 日、大津市で行なわれました滋賀県栄養協会通常総会にて当院栄養課が平成 17 年度栄養関係功労者知事表彰を受賞いたしました。これは当院の患者様給食に対する運営管理業務が評価されたものです。当院では管理栄養士による栄養指導を患者様に積極的に行なっております。受賞を機に、更に充実したメニューや栄養指導の提供ができるよう心がけていきたいと思っております。



### 職業リハビリテーション事業の充実



当院では様々な施策や事業を通して、精神障害者の皆様に対する社会復帰、自立支援を行なっております。この度、当院の患者様を中心に運営してまいりました喫茶カフェ・ド・歩°歩°を、より具体的に就業の機会をサポートするための場、職業リハビリテーション事業として位置づけることになりました。就業問題は、経済面、生活面から極めて重要で、この事業を通してひとりでも多くの精神障害者の方が社会復帰されることを目標としております。主旨をご理解いただき、ご来院の際は、是非カフェ・ド・歩°歩°をご利用ください。



### 新就職者対象の防犯講習会を行ないました

本年 4 月、15 名の新就職者を迎えた当院では、今年も近江八幡警察署のご協力をいただき、恒例の新就職者を対象にした防犯講習会を行ないました。集まった新職員は全員護身術を習うのは初めてで、緊張感に満ちた指導と説明の中で、参加者のひとり、実践に生かしたいと感想を話してくれました。



### 潮干狩りに出かけました

患者様対象の潮干狩りレクリエーションが 7 月 6 日に三重県の御殿場海水浴場で行なわれました。患者様、スタッフ総勢 50 名で繰り出した今年の潮干狩りは、梅雨の合い間の快晴に恵まれ、参加者、スタッフは大粒のアサリがザクザク取れる砂浜で大はしゃぎ。マテ貝やハマグリ、ヤドカリやカニを見つけると大歓声が聞こえました。青い空の下、快い潮風を浴びながら参加者全員リフレッシュできました。



## 八幡青樹会病院のデイケアスタッフからお知らせです。

デイケアスタッフ 精神保健福祉士

関川 美弥

あなたは今、どんな風に過ごされていますか？

“働きたい・友達が欲しい・楽しい時間を過ごしたい・・・でもどうして良いか分からない”と思いませんか？デイケアはこのような人のためにあります。当院のデイケアは、毎週火・水・金・土曜日（9：30～15：30）に開所しています。1ヶ月の予定を毎月利用者の方々と共に決めて活動しています。

この他にも年間行事として、バス旅行やバーベキュー、クリスマス会などイベントも沢山！！今年のバス旅行は吉本新喜劇観劇ツアーを企画しています。あなたもデイケアのメンバーになって、一緒に楽しく過ごしませんか？質問やお問い合わせなどございましたら、デイケア職員、ソーシャルワーカーまでお気軽に声をかけて下さい。



~~~~~ 精神保健福祉にまつわる Q&A ~~~~~

**質問** Q：退院して地域で一人暮らしをしたいのですが、自信がありません。生活しながら訓練してもらえる施設にはどのようなものがありますか。

A：ひとり暮らしするのは不安なことです。特に入院が長期であると社会との交流が減り、退院後の生活に対する戸惑いや不安があるのは仕方のないことです。不安や自信を失っている部分を少しずつ訓練、準備を重ねて自信をつけ、社会復帰をしていくことが大切です。一人暮らしをしていくためには、食事、洗濯、入浴、整頓などの家事や身のまわりのこと、服薬、金銭の管理などの生活するための技術が必要です。病院や、**援護寮**などで訓練を受けたり、**グループホーム**などで共同生活などで共同生活を体験することも役に立つでしょう。また規則正しい生活を送り、対人関係の練習をするために、日中、**作業所**や**デイケア**に通所し、仲間、関係者、ボランティアなどの地域の人たちと触れあう機会も大切です。そして何よりも大切なことは、生活の悩みや不安をいつでも気軽に相談できる人や場所を持つことです。自分の人生の目標を持ち積極的に社会に参加していきましょう。

援護寮、グループホーム、作業所、デイケアについて、詳しくは医療社会事業課（ソーシャルワーカー）にお問い合わせください。

## 青樹会病院野球部だより

青樹会病院野球部監督 二国 和良

青樹会病院野球部は、7月2日、3日に草津グリーンスタジアムで行なわれた天皇賜杯第60回全日本軟式野球大会滋賀県大会に出場、順調に勝ち進むことができ滋賀県大会優勝を飾り4年連続の天皇賜杯全国大会出場権を獲得いたしました。今年の全国大会は9月23日から6日間、鳥取県米子市で開催されますが、全国大会に向かって猛練習を重ねております。大会では我々のモットーである全員野球、精神野球をグラウンドで展開するつもりです。皆様のあたたかい声援をこころからお願い申し上げます。



## あとがき



何年も前に都会で暮らしたことがあります。便利な生活でしたが、暮らしているうちに、季節感が感じられないことに気がつき、快適さや便利さと裏腹に寂しい思いがしました。田舎に住んでいると季節の風景と季節の香りが私たちのこころを和ませてくれます。コロコロと鳴くこおろぎの声を聞きながら、どこからか、田んぼのわらを焼く匂いが漂ってくると、まだまだ自然の中に生きているんだなあ、というささやかな喜びを感じることが出来ます。

八幡青樹会病院 広報委員会（地域連携室内） 電話 0748-33-7104